

議 事 の 内 容

1 令和6年度4事業の活動報告・決算報告：資料2

【4事業担当者】

○令和6年度の事業について、各事業の担当者より活動報告ならびに決算報告がされた。

(1) 子ども支援事業

- ※5月30日に第1回の実行委員会を開催し、子ども支援事業の活動をスタートさせた。
- ※7月、9月、11月の交通安全週間に合わせて実施をした。
- ※7月は61名、9月は64名、11月は95名の方々に参加をいただいて街頭指導を実施した。
- ※街頭活動に関する啓蒙活動として、春光台中学校のパソコン部の皆さんにお願いをしてポスターの作成を行い、地域の主要な施設や商店に掲示させていただいた。
- ※公民館のホームページや旭川市の「まなびネットあさひかわ」に活動状況を掲載するとともに、「まち協だより」を作成し、町内へ回覧することによって地域住民への理解を図った。
- ※成果としてはP10に示した通りであるが、回を重ねるにしたがって元気に挨拶をしてくれる子どもたちが増えた。また、協力者も5名増え、街頭指導を行う場所も10ヶ所に増やすことができた。
- ※課題としては、交通安全週間以外の期間や下校時にも指導員が立つことができないだろうかとの意見が出ていたので、今後の会議の中で検討したい。
- ※予算については、当初予算が20,000円であったが、他の事業の残金から28,048円を追加配当し、48,048円を支出した。

(2) 未来プロジェクト事業

- ※エコチャレンジ「クーリング」と春光台未来プロジェクトの二本立てで事業を進めている。
- ※エコチャレンジ「クーリング」については鷹の巣福祉村地区で実施し、今回の活動によって、春光台の全地域で実施することができた。
- ※未来プロジェクトについては11月16日に実施し、高台小学校4年生の総合学習の発表、春光台中学校の生徒会の発表、そして、クロストークとして「春光台の歴史を知る」というテーマでの発表を行い、その後、「未来を見据えて今できることは何か」とのテーマでグループトークを実施した。
- ※成果としては、「クーリング」では、今回を含めた3回の実施によって春光台の全地域において実施をすることができ、春光台地区からの参加者や親子での参加も見られた。
- ※「公民館ホームページ」、「まなびネットあさひかわ」や「まち協だより」にも活動の様子を掲載することにより、地域の人々の理解が広がり、共感者が増えた。
- ※春光台未来プロジェクトでは、子どもたちが総合的な学習の中で「福祉」を通じて春光台を知ろうとしてくれていることが大きな成果である。
- ※課題としては、子どもたちをはじめとする多世代との交流の大切さを地域に広く啓蒙していく必要があると感じており、これまでの3回の実施でゴミが少なくなっていくという課題に対しては、ゴミを拾うのではなく、ゴミを捨てにくい地域にしていく必要があるとの意見が子どもたちから出ていた。
- ※この取り組みが春光台だけでなく、他の地域にも広まっていくことができればよいと考えている。
- ※決算については、予算額140,000円に対して100,438円の支出となっている。

(3) 畑づくりプロジェクト事業

- ※子育て世代を中心とした親御さんたちで農業経験者などと畑づくりを通じて収穫までの世話や食べ物大切さを世代間の交流の中で学びながらフラワーロードに協力したり、春光台の歴史に触れたり、魚釣りなどを通じて豊かな自然を感じながら郷土愛を育んでいくことをねらいとして活動している。
- ※延べ人数として、子ども約120名、大人約60名の参加が見られ、畑の土起こし、草取り、石拾い、水やり、苗の支柱たて、畝おこし、草刈りなどの作業を行った。
- ※9月7日に子ども8名、大人6名が参加して収穫祭を行った。
- ※収穫祭では、スーパードで見ることのない形の悪い野菜や大(小)きすぎる野菜などもあり、農家の皆さんの苦勞を知ることができた。また、嫌いな野菜も自ら収穫した分は美味しく工夫して食べることができるなど、子どもたちの食育にも貢献することができた。
- ※地域食堂、子ども食堂にも食材として提供することができた。

- ※実行委員で鷹栖町で農家をされている方の畑に出かけ、収穫のお手伝いなども行うことができた。
- ※9月22日には魚釣り大会を実施し、子どもたちと一緒に親も夢中になって楽しむことができた。
- ※11月9日に後片付けとしてヤーコンの収穫とやぐらの解体などを行い、収穫したヤーコンについては地域食堂の食材としても活用された。
- ※成果としては、継続して畑づくりの活動を行うことで農作物を作る大切さや食べ物の大切さを体感することができた。また、フラワーロードや春光台の歴史、魚釣り大会などを通して、自然に親しむことの大切さについても学ぶことができた。
- ※活動全体を通して、世代間交流を図ることができた。
- ※決算については、予算額60,000円に対して、追加配当9,634円を受けて69,634円の支出となった。

(4) 地域食堂事業

- ※今年度は、5月、8月、10月、2月に事業を実施した。
- ※事業については、午前10時から午後2時の時間帯を目安に実施した。
- ※内容としては、①昼食・おやつ調理と食事、②交流あそび
- ※参加者は、4回の実施で延べ499名の参加があった。(1回目：144名、2回目：156名、3回目：122名、4回目：77名)
- ※実施に当たっては、旭川市立大学子どもの未来を考える研究会「みら研」の皆さんに毎回サポートをしていただいたが、それ以外に旭川実業高等学校、明成高等学校、旭川北高等学校の皆さんにも協力をしていただいた。
- ※世代間交流については、それぞれの世代で活動している傾向が見られたので、4回目の活動では、縦割りグループを編成することによって世代間の交流ができるように工夫をした。
- ※4回目の講座では、「足もみ講座」や「ヘッドマッサージ」の講座を実施し、参加者の皆さんからは大変好評であった。
- ※成果としては、2回目の事業で行った旭川市立大学「江口ゼミ」の皆さんによるラーメンの提供が大変人気であった。
- ※実施に当たっては、チラシを作成して小中学校で配布させていただいたり、4回目の実施では、町内会の回覧で案内をさせていただいた。また、SNSや旭川市の「まなびネット」でも周知を図った。
- ※色々な形で周知を図ったことにより、春光台以外の地域からの参加者もみられた。
- ※課題としては、料理を作る作業にも参加をしていただいたり、スタッフとして中学生の皆さんにも参加していただけるように工夫していきたい。
- ※決算については、予算額180,000円に対して、追加配当1,836円を受けて181,836円の支出となった。

質問・意見

【会長】

- ※4回目の地域食堂には地域の方々も来られていたが、事前の申し込みがされていないためにグループの中に入って一緒に活動することができなかったようなので、そのような方への対応を検討していただきたい。

2 令和7年度4事業の活動について：資料2

【各事業の担当者】

- 令和7年度の事業について、各事業の担当者より事業の概要について提案がなされた。

(1) 子ども支援事業

- ※令和7年度は、4月7日から事業を開始できるようにしていきたい。
- ※ポスターについては、春光台中学校のパソコン部をお願いをして作成を終えている。
- ※高台小学校については、児童会で作成して校内に掲示していただくことになっている。
- ※チラシについては、今後、各町内で回覧できるように準備していきたい。
- ※令和7年度は、さらに協力者が増えることを期待しており、下校時やふだんの見守りについても実施することができないかを第1回の実行委員会で協議していきたい。
- ※会計については、横断旗を追加で10本購入したいと考えている。

(2) 未来プロジェクト事業

- ※10年計画で進めている事業の折り返し時期になる。
- ※現在は、これまでの活動についての分析を行っている最中で、今後の活動をどのように進めていくべきかについて検討中である。
- ※クーリングの活動を町内会の団体とコラボさせ、広く参加者を募ることができないかについて検討をしている。また、高台小学校、春光台中学校にも協力をお願いしたいと考えている。

※令和7年度の「クーリング」の活動は、連休明けの5月17日の午後に実施したいと考えている。

※春光台公民館を拠点に、若草町内会、北斗町内会をターゲットとして実施したいと考えている。

※高台小学校、春光台中学校の皆さんからいただいた「笑顔に満ちあふれた」「優しさに満ちあふれた」「みんなが交流できる」春光台にするために・・・をスローガンにその具現化を図っていきたいと考えている。

質問・意見

【委員】

※若草町内会は、5月18日に町内会の清掃を含めた行事を予定しているので、この日程(5/17)では参加が難しい。

【担当者】

※若草町内会での実施が難しいようであれば、実施地域について再検討してみたい。

(3) 畑づくりプロジェクト事業

※畑に植える苗を準備する関係で、今年度は4月からの計画で実施したい。

※今年度は、昔の農業を学ぶために郷土博物館の見学に行きたいと考えている。

※予算については、今年度同様の金額で実施できるように進めていきたい。

(4) 地域食堂事業

※春光台公民館を会場にして、今年度も年4回の地域食堂の実施を計画している。

※内容については、スタッフと協議しながら縦割りのグループで活動をしたいと考えている。

※旭川市立大学「江口ゼミ」のラーメンが大変好評だったので、今年度も可能であれば地域食堂で実施できるようオファーをしていきたい。

※地域の皆様からも要望を出していただいて実施できるように検討していきたい。

※予算については、昨年同様の予算を割り当てていただけるとありがたい。

3 送迎サービスについて

【会長】

○菊地会長より、送迎サービスの実施に向けての活動を開始したいとの発言があった。

※新年度には実行委員会を立ち上げ、本格的に進めていきたいと考えている。

※実行委員会を立ち上げるための準備として、まち協関係者（会長、副会長、両市民委員会会長、事務局長の5名）で準備委員会を立ち上げたい。

4 春光台・鷹の巣まちづくり推進プログラムの改訂について：資料1

【旭川市市民生活部地域活動推進課：木下主査】

○春光台・鷹の巣まちづくり推進プログラムの改訂について、事務局：旭川市地域活動推進課より説明がされた。

※P3 教育、文化、スポーツ振興の部分の「道ありき」春光台の坂の名称募集については、事業が終了したので削除をした。

※P4 基本的な生活環境の確保、環境保全、事故・犯罪の防止、防災における課題解決の取組、魅力づくりの中にスノーコミュニケーション活動の推進という項目があったが、現在は活動が行われていないので、項目から削除をした。

※P4 郷土愛や誇りの醸成・コミュニティ活性化(世代間交流)における郷土愛育成についての課題解決の取組・魅力づくりに夢あかり(アイスクャンドルの取組)、実施主体として春光台、鷹の巣福祉村地区市民委員会を追加した。

※P1 地域目標「安心・安全・元気で仲良く暮らせるまちづくり」について、前回の会議で委員よりP15の春光台未来プロジェクトのスローガンと一緒にしてはどうかとの意見が出ていたので、そのことについて協議をお願いしたい。

【委員】

※「笑顔に満ちあふれた」「優しさに満ちあふれた」「みんなが交流できる」春光台に変更したらよいと考える。

※春光台未来プロジェクトで毎年掲げられている上記のスローガンと統一させた方が地域の方々の中にも浸透していくのではないかと考える。

【委員】

※P15 春光台未来プロジェクトのスローガンは、第1回の会議で春光台中学校の生徒会の皆さんがプレゼンしてくれたものなので、それを地域の中で大切に育てていくことが私たちの使命ではないかと考える。

【会長】

※地域目標を新年度は変更する方向で進めていきたいと思うが、目標の文言が少し長

いので、委員の皆さんのご意見をお願いしたい。

【委員】

※「笑顔と優しさに満ちあふれた みんなが交流できるまちづくり」はどうか。

【委員】

※「安心」又は、「安全」、「交流」という文言を残して方がよいのではないかと考える。

【会長】

※新しい地域目標の文言については、3月中に再検討をして決定したいと思うので、皆さんのご意見を3月25日(火)までに事務局に連絡してほしい。

【旭川市市民生活部地域活動推進課：木下主査】

※P3の市への要望・地域からの提案の項目について、昨年度は地域のコミュニティー交通についての要望があり、旭川市の地域振興部交通空港課が関与するかたちで送迎サービスに繋がった経緯があるが、来年度に向けて市への要望があれば出していただきたい。

【委員】

※「水芭蕉観察会」を行う際に使用している春光台公園の駐車場の除雪を旭川市に要望することができないか。

【旭川市市民生活部地域活動推進課：木下主査】

※P4 基本的な生活環境の確保、環境保全、事故・犯罪の防止、防災における冬期間の除排雪に係る課題の克服の項目の中に入れたい。